

No 215

2022/3

NPO法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局



Tel : 045-945-0816

E-mail seitaien@ybb.ne.jpURL <https://www.seitaien.com/>

写真 : K.N.さん (2/27)

【昆虫】 ～ 成虫越冬する昆虫

昆虫にはカマキリのように卵で越冬するものやカブトムシのように幼虫の姿で越冬するもの、成虫の姿で越冬するものがあります。今回掲載したキタテハとナミテントウは成虫の姿で越冬するため、早春いち早く成虫の姿で動き回っているのを見かけます。



【キタテハ】
タテハチョウ科
北海道～九州まで生息し、開けたところでふつうに見られます。初夏から夏に成虫の姿で現れる夏型と、秋～翌春に現れる秋型が見られます (2/27)。

写真 : K.N.さん



【ナミテントウ】
テントウムシ科
全国に生息しており、翅の模様には多様なパターンが見られます。ナミテントウはアブラムシを食べる益虫として親しまれますが、同じ科でもテントウムシダマシ等は葉を食べるため害虫扱いをされます (2/27)。

【植物】～ 小さいシュンラン

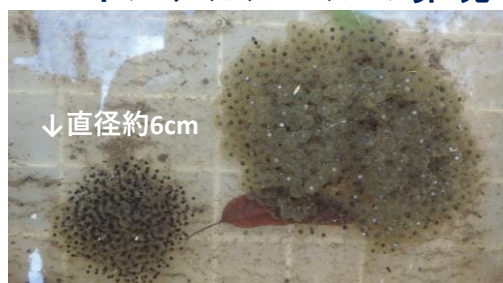


【シュンラン】ラン科

早春に咲くランの仲間。光合成で得た栄養と菌類から得た栄養の両方で生育するため、住宅地等では見られず、林床環境が整った雑木林で見られます。今回 (3/6)、東山中腹で小指の先サイズ (1～2 cmほど) の花をつけたシュンランを発見しました (通常は3～4 cmほど)。小ぶりですがかわいらしいですが、日当たりが悪かったのでしょうか？

【両生爬虫類】

～ ニホンアカガエルの卵塊



【ニホンアカガエル】アカガエル科

本州・四国・九州の平地に生息します。1～3月に一度冬眠から目覚め、水辺で産卵を済ませると再び春まで冬眠すると言われますが、「真冬でも暖かな日には活動することがあり、冬眠するかどうか疑問である」との説もあります (日本産力エル図鑑 松井正文著)。写真では2種類の卵があるように見えますが、どちらもニホンアカガエルの卵。大きな方は2/10に、小さな方は3/5に確認されたものです。胚 (オタマジャクシになる黒い部分) の成長もありますが、ゼリー状の部分が水分を吸うことにより、産んでから時間が経つと塊が大きくなります。

【2月～3月初旬の作業・イベントの様子】

保全作業（2/19, 27）



園路沿いや新しく見つかったウバユリ生息地周辺のササ刈を行いました。
O師匠とK.Y.くんはトンボ池の泥溜め枠の材料の竹切と運搬を行いました。

昔ながらの米作り ～稲刈り（10/2, 9, 10）～

1年間お米を育ててくれた田んぼへの御礼として、堆肥入れを行いました。昨年からサポーターのKさんご一家と水辺スタッフの力を借りて、コツコツ堆肥を作っておりました。林床整理のために掃いた落葉や伐った枝のチップを田んぼの栄養として利用し、里山としての循環を目指しています。パケツリレーで運び、子どもたちが投げ込みました。ザリガニを乾燥させて粉にしたものも、撒きました。最後は余った時間を使って、稲わらで箒作りをしました。



米作り
参加者の
皆さま、
お疲れ様
でした♡

【3月～4月初旬のイベント・作業】

詳細・お申込み・開催可否の確認はwebで♪

日時	活動	内容	対象
3/19(土) 10:00～14:30	想ネイチャークラフト 野外教室	木の実・草の実など使って自由に動物などを作ります〈荒天中止〉	こども～
3/19(土) 10:00～12:00	保全(作業)	ササ刈り・低木刈り等〈荒天中止〉 ＊軽食なし・飲み物は各自用意	おとな 小学生は親子
3/19(土) 13:30～15:00	しいたけ菌うち(作業)	丸太にあげた穴にしいたけの菌を打ち込みほだぎを作成します〈荒天中止〉	おとな 小学生は親子
3/23(水) 10:00～11:30	森と仲良しキッズイン 生態園	五感を使ってキッズネイチャーゲームを親子で楽しみます(雨天中止)	未就学児親子 (4～6歳)

＊いずれのイベント・作業も新型コロナ感染拡大状況により直前でも中止となる場合がございます。

【事務局より】

ご来園時はお自宅での体調チェックをお願いいたします。保全作業では感染拡大防止のために飲み物の提供は控えさせていただいております。必ずお飲み物をご持参のうえお越しください。

22年度の会費のご納入も、承っております。月末までに、詰所にて、またはゆうちょ銀行振込にてお願いいたします。

会費〈個人：1000円、家族：1500円〉 振込先：ゆうちょ銀行、記号：10940、番号：190701
引き続きよろしくお願いいたします

赤木